ふじみ野市の
お金の使いみち

令和７年度 決算



写真：ふじみ野ステラ・イースト　ホール棟

ふじみ野市 総合政策部 財政課



ふじみ野市PR大使『ふじみん』

目次

1. 決算ってなに？ …… 1

2. 詳しくみてみよう ～歳入～ …… 2

3. 詳しくみてみよう ～歳出～ …… 3

4. ふじみ野家（市）の家計簿 …… 4

5. ふじみ野市の借金と貯金 …… 5

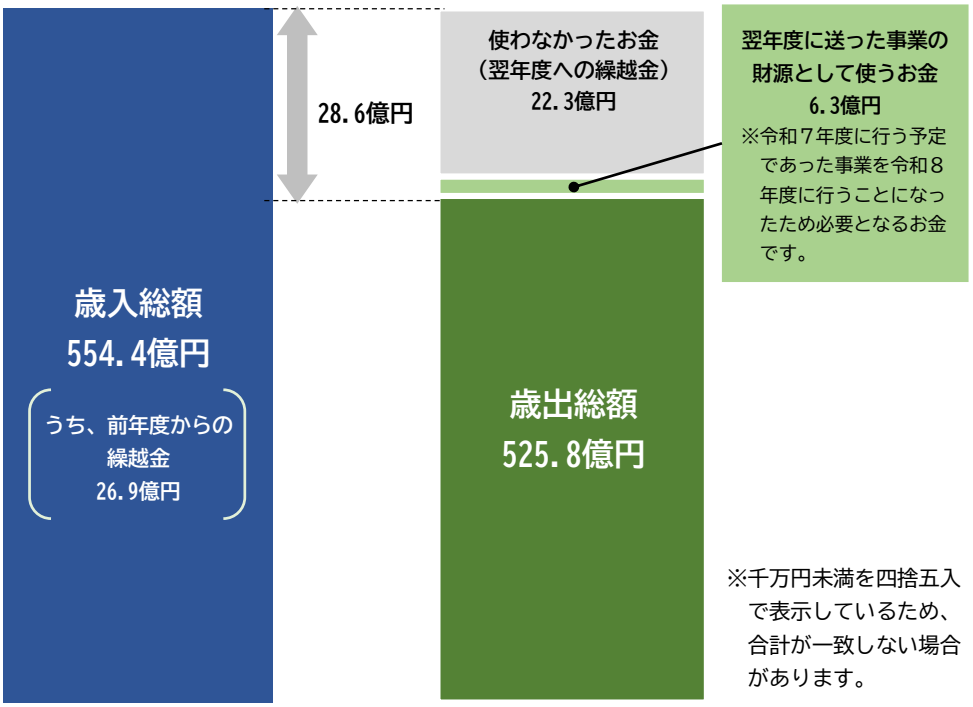


1 決算ってなに？

１年間（４月～翌３月）に入ってくるお金を「歳入」、使うお金を「歳出」といいます。予算が歳入と歳出の計画であるのに対し、決算はその実績を示したものです。

市が扱うお金は、使い道や目的によって、お財布を分けて管理しています。ここでは、一番大きなお財布である、一般会計の決算について説明します。

令和７年度の一般会計の決算



※千万円未満を四捨五入で表示しているため、合計が一致しない場合があります。

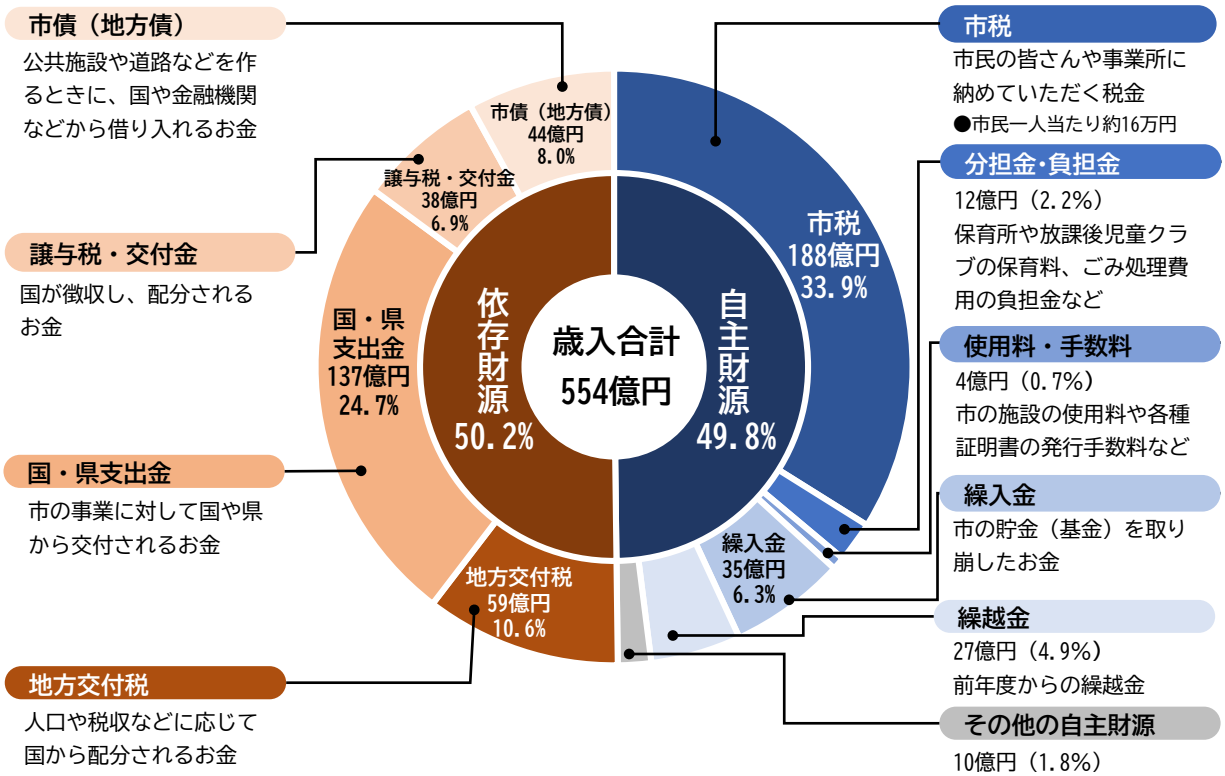
ふじみ野市の会計

会計			令和７年度の歳出・支出	説明
一般会計			525.8億円	福祉や保健、ごみ処理、道路や公園の整備、消防、教育など、市の基本的な仕事を行うための市で一番大きなお財布です。主に市税で賄われています。
特別会計	国民健康保険特別会計		89.1億円	これらの事業も市の仕事ですが、保険税などの特定の収入があるため、独立したお財布を設けて使い道を明確にし、一般会計とは分けて管理しています。
	介護保険特別会計		94.6億円	
	後期高齢者医療事業特別会計		18.1億円	
企業会計	水道事業会計	収益的支出	16.5億円	これらの事業は、民間企業のように活動していて、使用料など基本的に自らの収益で運営しています。
		資本的支出	6.6億円	
	下水道事業会計	収益的支出	18.2億円	
		資本的支出	19.2億円	

2 詳しくみてみよう～歳入～

令和７年度のふじみ野市の収入額約554億円のうち、市民の皆さんに納めていただいた市税の合計は、188億円（構成比33.9%）でした。

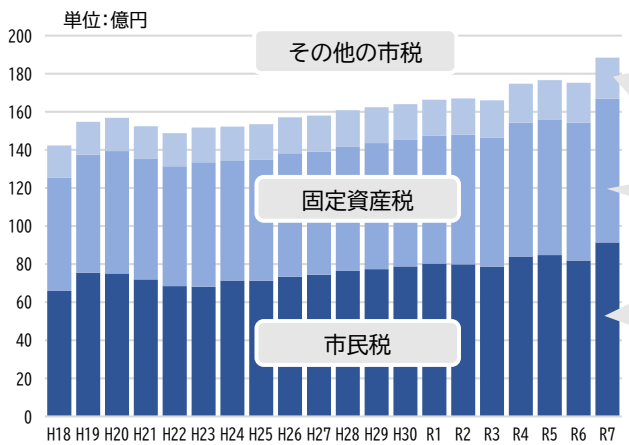
令和７年度の一般会計の歳入の内訳



自主財源と依存財源？

「自主財源」とは、市税のように市が自ら集めることができるお金。一方「依存財源」は、国や県から交付されるお金。一般的には、自主財源の割合が高いほど自主的、安定的に行政が行われるといわれていますが、ふじみ野市は、国が返済の肩代わりをしてくれる有利な借金（地方債）と国や県などの補助金を活用しながら小学校大規模改造事業などの大規模な建設事業を行っていることから、依存財源の比率が高い傾向にあります。

市税の推移



●その他の市税
たばこを買った方が納める「たばこ税」や、軽自動車などを取得した方や持っている方が納める「軽自動車税」、市街化区域に土地や家屋などを持っている方が納める「都市計画税」があります。

●固定資産税
土地や家屋などを持っている方が納める税です。

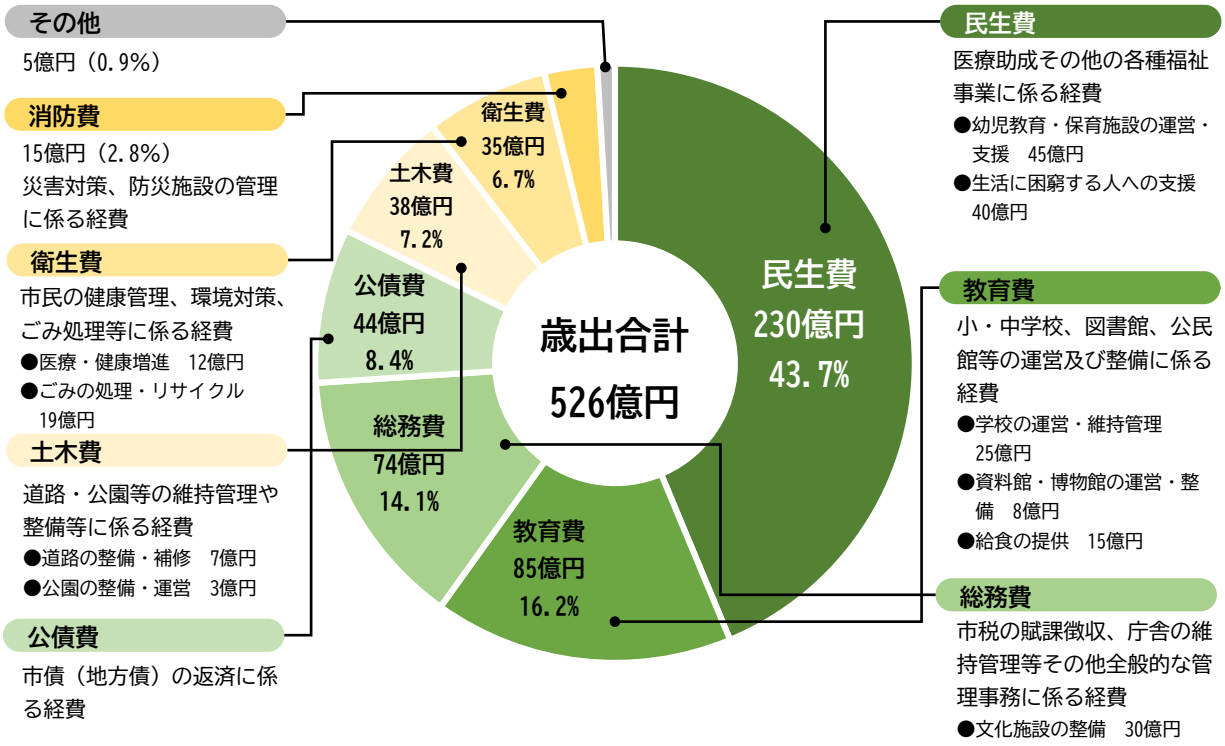
●個人市民税
市民の皆さんが所得に応じて納める税です。

●法人市民税
市内の会社が所得などに応じて納める税です。

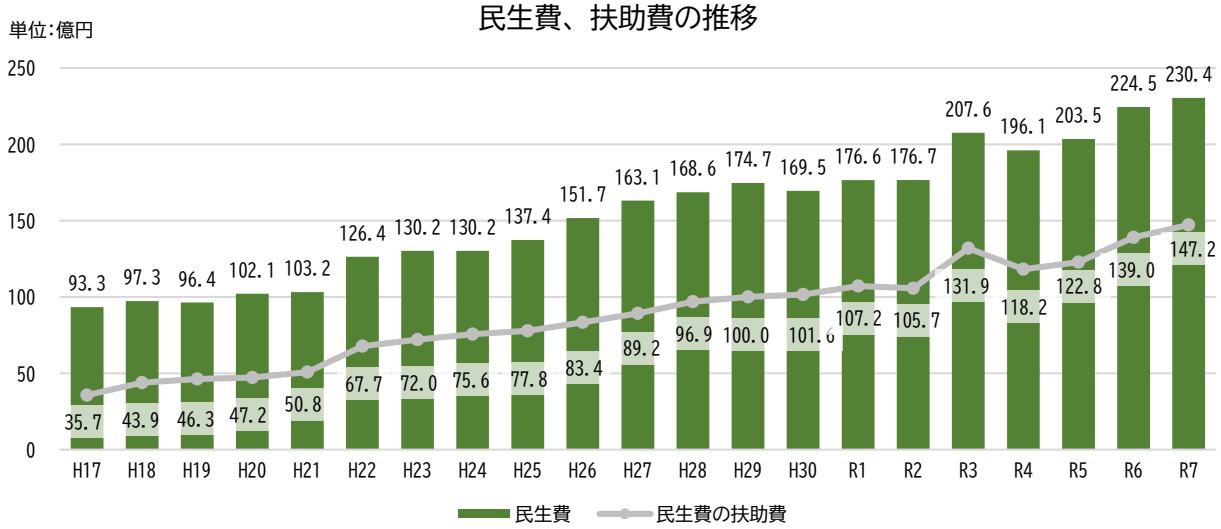
3 詳しくみてみよう～歳出～

令和７年度のふじみ野市の支出額は約526億円でした。 このうち、民生費と教育費で全体の約60%が使われています。

令和７年度の一般会計の歳出の内訳



民生費、扶助費の推移



「民生費」は、ふじみ野市が誕生した平成１７年度と比較して約2.5倍に増加しました。

そのうちの生活保護費や子育て世帯、高齢者、障がい者の生活を支援するための「扶助費」は約4.1倍に膨らんでいます。

令和７年度の扶助費が特に大きくなっているのは、物価高騰対策給付金等の支給をしたことが要因となっています。

4 ふじみ野家（市）の家計簿～11万人の台所事情～

令和７年度のふじみ野市の決算額を、厚生労働省の発表している「国民生活基礎調査」に基づく世帯の平均所得金額約575万円に合わせて家計簿に例えてみました。



年収約575万円の家庭に例えると…

収入

給料		296万円
・基本給	市税	195万円
・諸手当	地方交付税・譲与税など	101万円
パート収入	使用料・手数料など	27万円
親からの仕送り	国・県支出金など	142万円
ローン（借入金）	地方債	46万円
貯金の取崩し	繰入金	36万円
繰越金	繰越金	28万円
収入合計		**575万円**

食費や医療費、ローン返済などの「義務的経費」の占める割合が高くなっています。

支出

義務的経費	食費	人件費	66万円
	医療費	扶助費	160万円
	ローンの返済	公債費	46万円
光熱水費など雑費		物件費・補助費等	128万円
車などの修理代		維持補修費	7万円
子どもへの仕送り		繰出金	40万円
家や庭の建築・改修		普通建設事業費	79万円
貯金など		積立金	20万円
支出合計			**546万円**

収入合計575万円から支出合計546万円を差し引いた29万円のうち、今年度終わらなかった家の建築・改修等6万円を差し引いた23万円が節約して手元に残ったお金になります。

この21万円は、次年度に繰り越して使用することになります。

用語の説明

人件費	職員の給料など
扶助費	生活保護費のほか、子育て世帯や高齢者、障がい者への支援などに係る費用
公債費	借金の返済
物件費	光熱水費、事務費のほか、専門知識が必要な仕事などを外部委託するための費用
補助費等	補助金、負担金など
維持補修費	施設の維持管理に係る費用
繰出金	特別会計の運営を補うための費用
普通建設事業費	道路、学校などの建設や大規模な改修などの整備に係る費用
積立金	基金への積立金

5 ふじみ野市の借金（地方債）と貯金（基金）

地方債って？

市の借金のことをいいます。家計でいうローンをさします。

どうして借金をするの？

公共施設の整備には一度に多くのお金が必要になります。これをその年の収入だけでやりくりしてしまうと他に必要な市民サービスができなくなってしまいます。

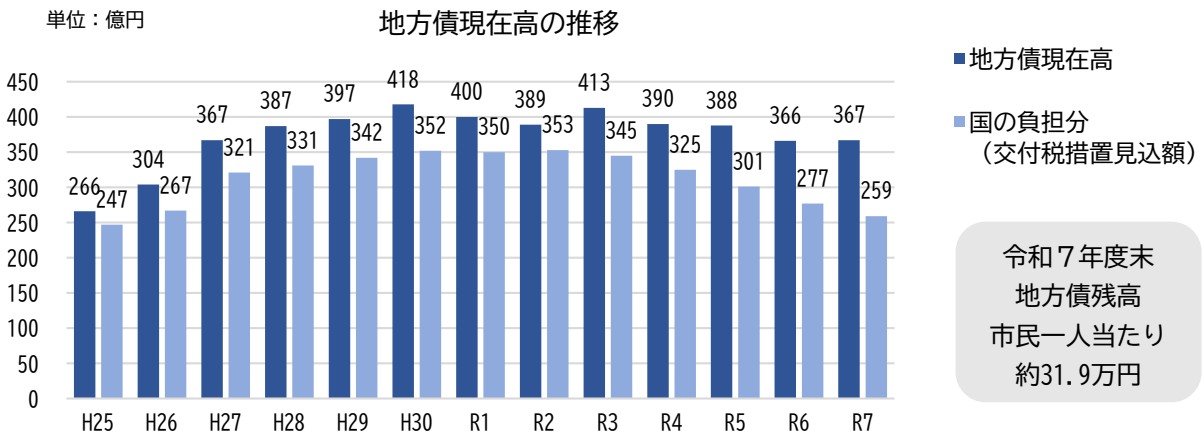
また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するため、負担の公平性を考え、借金をして『現在の市民』と『将来の市民』で平等に協力することにより費用負担の公平性を確保するものです。



市の借金はどれくらいあるの？

令和７年度末の地方債残高は、約367億円です。主に道路や公園、スポーツ施設、文化施設、学校などの公共施設の整備に使われています。

地方債の中には、返済のための財源の一部又は全部を国が負担してくれるものがあり、ふじみ野市は、そのような地方債を多く活用することで負担の軽減を図っています。



令和７年度末
地方債残高
市民一人当たり
約31.9万円

基金って？

市の貯金のことをいいます。

どうして貯金をするの？

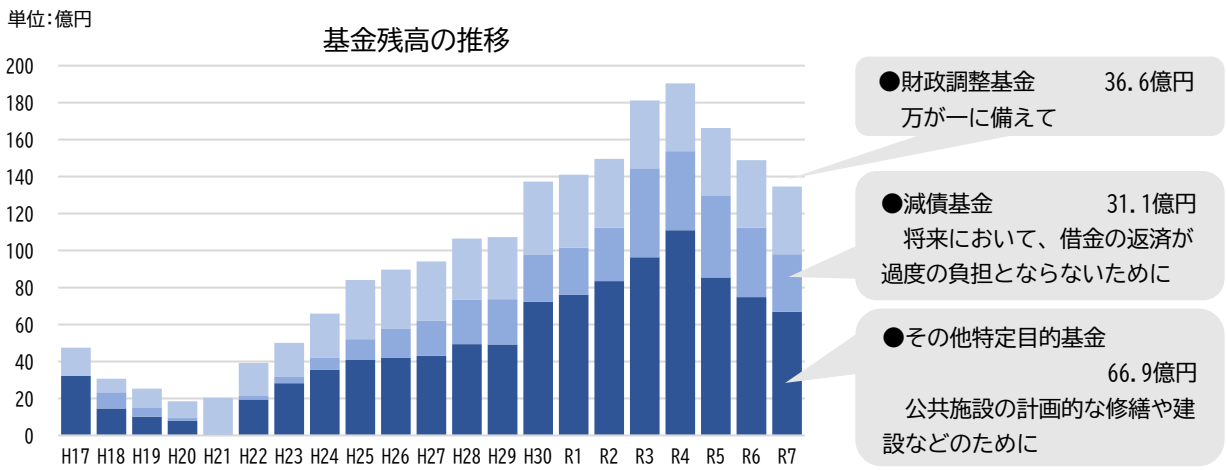
市税などの収入は、経済の状況により変化し、一定ではありません。また、老朽化した公共施設の改修には一度に多額の費用を要します。さらに、大規模な自然災害など、不測の事態にも安定した市民サービスを提供していくため、備えておく必要があるからです。



市の貯金はどれくらいあるの？

ふじみ野市では、予期せぬ収入減や支出の増に備える財政調整基金のほか、借金の返済のための減債基金や特定の目的に応じて積み立てている特定目的基金があります。

令和７年度末の基金の残高は、約135億円となっています。



地方債（借金）の残高は、令和７年度は減少しましたが、今後、文化施設や博物館の整備などに多額の費用がかかるため地方債（借金）は増加する見込みです。今後市の負担が少ない地方債を活用することや基金（貯金）を計画的に積み立てることで、将来の市民の皆さんの負担が大きくならないようにしていきます。

令和７年度末
基金残高
市民一人当たり
約13.0万円

発 行 者　　ふじみ野市総合政策部財政課
住　　所　　〒３５６－８５０１
　　埼玉県ふじみ野市福岡１－１－１
電話番号　　０４９－２６２－９００４